

【第2回学校運営協議会『熟議』におけるアイデア】

令和5年6月19日(月) 実施

参加者：学校運営協議会委員 5・6年生児童

テーマ：チャレンジ目標の実現に向けて、自分たちにできること



Aグループ:「なかまとうんどう」

- ・遊びで運動する
 - 他の学年の人とも楽しく、みんなで遊ぶ（高学年がお手本となって）
 - 晴れの日の休み時間は、さそい合ってみんなと遊び、運動することが好きになる
 - 週に1回くらいみんなでレクのようなことをする（おにごっこなど 投票してもらってもよい 放送で呼びかける）
 - 【良い点】長続きする 太陽にあたると元気になる 楽しめる みんなで交流できる 仲よくなれる
 - 【悪い点】まじめに取り組めない
- ・運動の時間をつくる
 - 1週間に1回5分間走 全校体育をする 名田島体操をする 色々な遊具を使って競争する
 - 【良い点】決められていて取り組みやすい 太陽に当たれる バランスがとれる
 - 【悪い点】苦手な人がいる 長続きしない（嫌になる） 他のことができなくなる
- ・地域行事に参加する
 - ※地域の行事→地区民運動会 クップ フットパス サマースタディー
 - 【良い点】地域の方と仲よくなれる 地域の方が喜ぶ 交流ができる
 - 【悪い点】日程が合わない



Bグループ:「だいすきそうじ」

- ・高学年と一緒にそうじをする
 - 低学年にそうじの仕方、ほうきの使い方、そうじのメリットなどを教える
 - そうじが終わったら、まだ終わっていないところを手伝いに行く やり残しがいないか確かめてピカピカにする
- ・自分でそうじができるようにする
 - 低学年にまかせてみる 細かいところまで気づけるようにする
- ・「やりやすい」そうじにする
 - その人に合ったやりやすい場所や方法でそうじする 学年や性格で、やりやすいそうじ場所の組み合わせをする
- ・「そうじ名人」を決める・ほめる
 - ※そうじ名人の条件は... 手伝う 自分から見つける 他の子に教える
 - 反省会でよかたところを発表しみんなでほめる そうじの目標をかがけてチェックする
 - 頑張ったらシールがもらえるようにする クラスでほめる
- ・そうじを楽しむ → ポイント制（だ・い・す・きのめあてが守れたり、ゴミやほこりなどを見つけたら）ゲーム感覚で（楽しみ過ぎないように...）
- ・家でも掃除のお手伝いをして習慣化する



Cグループ:「じまんのあいさつ」

- ・高学年がお手本を見せる
 - 1・2年生にも分かりやすいように、恥ずかしがっていたら高学年がやってみせる
- ・あいさつ運動を進める
 - 「あいさつの日」を増やす。毎日あいさつを3回以上する
- ・あいさつを「楽しく」する
 - ハイタッチあいさつ あいさつの言葉+何かの言葉をそえる→会話が広がる
- ・あいさつができたなら「ほめられる」仕組みをつくる
 - 1日に○回あいさつしたらシールや賞状がもらえるなど
 - あいさつが完璧にできた人を放送でほめる 学年でよかったところや全体的によかったところも紹介する
 - 帰りの会で「あいさつタイム」をつくる→当番があいさつをよくしていた人を発表する
- ・そもそも自分が元気でないと、元気にあいさつできない（元気のおすそわけ）
 - 朝早くてもじまんのあいさつをするため早寝早起きをする 元気で大きな声を出す

